

**綱 領**

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由として明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日赤新勞

平成3年  
1月1日  
発行  
第131号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-2-14  
K1ビル802  
TEL(03)3433-3028  
発行責任者  
市川清美



謹んで新春を  
お慶び申し上げます

皆様のご健康とご多幸をお祈り致します  
尚本年もよろしくお願ひ申し上げます

執行部一同

第3回中央委員会（90年12月16～17日）



本社前での全体会議 (90年11月29日)

交渉内容は国交中に休憩をと  
り、隨時参加組員に報告、そ  
して意見を把握し最終的にかな  
り論議され、臨時中央委員会の  
決定にもとづいて給与要綱三十  
五条二項（基礎額の算定）の改  
定について妥結した。

しかしそれ以外は従来ど変わ  
りなく給与要綱三十五条一項に  
もとづいて各施設、各組間の  
交渉に委ねることになった。

強化と福井日赤、石川血センのオルグ経過報告、年末一時金要綱結後の本部と本社間の給与要綱三十五条についての経過報告。

組織部

卷一百一十一

その後、運動方針案等の審議に入り、翌十七日の十二時迄に討議された。

## 前で本社全体集会を開催

単組より約三百余名の組合員の  
参加のもと、日本赤十字本社に  
於いて、全体集会が盛大に舉行

今回の集会は人事院勧告の末手当の改定に伴い、回答を行ふに急に引き出す手段として、先回第一回中央委員会にて決定されたもので、参加組合員は、本社玄関に続々と集合した。

組合員、そして各組合の組合旗が風になびく中、中央執行委員長の挨拶ではじまり、ひき続いて新労の労働歌を全員で合唱し、我々新労の要求貫徹の看板が設置された中、期末手当、四

その後も各ブロックの代表、中央委員が中心となり、シップ、ヒコールによる行進が続けられた。その声は当然国交中、本の団交員の耳もとに届き、当本社としては加算措置をした。

二、平成二年度予算案について  
財政事情を説明の後、原案  
おり満場一致で可決した。  
三、本部役員の宿泊費・日  
について。

第二回中央委員会で決定した  
大会役員及び委員を再確認した。  
た。※機関紙百三十号承認

組内の代議員もしくは役員を除く組員によってその代理出席を認め、これを成立要件に加えることを再確認した。

# 第三回 中央委員会を開催

六 その他  
○本部役員の生命保険加入について  
第三十回定期全国大会までに各連組で検討していくことになった。  
ついて  
二倍・四千四百円。宿泊費四四級七千八百円。  
飛行機利用可。  
平成三年二月一日実施。

〇例規集について  
早急に送ることを約束した。

鬼怒川温泉で開かれた全国婦人代表者会議



庄司志保代さん

大型台風が去り、初秋を感じさせる昨年九月二十二日から五日まで、全国婦人代表者会議が温泉町で開催された。

第一回目（二十三日）午後三時三十分定刻には参加申込施設十三施設（病院十一、血液センター二二）二十六名員が集合し早速部会が開かれた。病院部会では各施設の活動状況を報告、続いて育児有給休暇、夜勤勤務状況、有給休暇の消化率など現状報告がなされ、活発な討議がなされた。血液センター部会では二施設四名の参

加があったので、日常の業務内

容、変化しつつある血液業務の流れについての情報交換がなされ、組合活動においては貢献

された。

第二回目（二十四日）午後三時三十分定刻には参加申込施設十三施設（病院十一、血液センタ

ターニー）二十六名員が集合し

この困難な状況を組合活動を通じて打開していくことを話し合

われた。

次に、議長に小池直子氏（芳賀日赤）、書記に松本昌子氏（芳賀日赤）が選ばれ会議に入った。

自己紹介に入り出身単組、趣

味、職場など和やかな中に紹介

を終えた。

主な項目は次の通り

一、雇用均等法五年目を迎えて

二、新たな男女「区分け」

三、看護休暇制度の普及促進

四、育児休業制度の普及促進

五、パートタイム労働対策等の促進

六、求められる女性の活躍の場

午後からは、レクリエーションとして日光市にて江戸時代にタイムスリップして、日々が楽しい一時間過ごした。

第三回目も八時三十分から平成三年度本部役員について討議が行われたが、その前に今後の婦人部活動のあり方について発言があり、次のように討議された。

今秋、岡山日赤従業員組合は本部並びに全国新労単組の熱いご指導、ご支援のもと、無事に創立30周年を迎えることができ

## 創立30周年を迎える

### 実利的行事 岡山日赤従組



今秋、岡山日赤従業員組合は本部並びに全国新労単組の熱いご指導、ご支援のもと、無事に創立30周年を迎えることができ

ます。結成時の初心に戻って、次代に向って一步一歩更に前進したいと決意を新たにしてお願い致します。

さて、この30周年の記念行事をどのようにするかが話題になりました。式典をして、記念講演会をして、祝賀パーティーをして、記念品を配布というのが一般的ですが、何事につてもユニークさ、奇抜さを発想の原点にして、しかも組合員全員に喜んでいただける方法は、そして実質的な方法は?と考えまして、次の行事にとりくめました。

日時：平成2年11月25日

(日) 11時～16時

場所：看護学校体育館と前庭

内容：市内有名百貨店による

創立30周年を記念する

企画バザール展（種類

など）

など

など